



代表挨拶

今年の9月より町田市の関係機関が集まり、地域のひきこもり支援のあり方について議論する場が生まれ、定期的に検討を重ねている。

その背景にはひきこもり状態の若者を取り囲む状況の多様化、困難化が進行し、彼(女)らを支えるには現行のスキームでは不十分であるという大きな危機感がある。よく知られるようになった8050問題(親が80代、子が50代といった高齢化した世帯が社会的な孤立状態に置かれること)に加え、ヤングケアラー、ケアリーバーといった現象も増加しつつある。

この分野は社会や時代で今起きている新しい課題が表出されやすい。過去を踏襲するだけでなく、私たちは常に今から学び取っていく必要がある。

いくつかの自治体、支援団体でもメタバースを導入した支援が開始された。こうした形での支援は今後も広がっていくだろうと考えている。開かれた感覚、柔軟性が求められている。

NPO法人ゆどうふ代表 辻岡 秀夫

9月29日 静岡にて団体視察を行いました！

スタッフ、ボランティア、わらしべ実行委員など総勢8名で静岡の青少年就労支援ネットワーク静岡と地域若者サポートステーションかけがわ・サポステプラスを訪問、それぞれの活動内容を説明いただき、その後質疑応答や意見交換を行いました。

地域に密着した支援活動とそれを支えるボランティアの皆さんのエネルギーを感じられ、充実した一日となりました。

休日にもかかわらずご対応いただきました静岡の皆様にご礼申し上げます。

※この視察は独立行政法人福祉医療機構(WAM)の助成金で実施しました



「第18回 町田市市民協働フェスティバル まちカフェ！」に今年も参加します

11月30日土曜日 10:00～16:00 町田市役所で行われる「まちカフェ！」にて出店します。

まちカフェはNPO・市民・地域活動団体・ボランティアと出会う町田最大規模のイベントです。

今年も就労移行支援事業所FUNs、さがみはら若者サポートステーションと協力し手造り作品の出店とゆどうふからはポップコーンの販売を行います。

開催までに一緒に出店する団体との交流や訪問を行いました。

まちカフェの魅力は開催までの会議などを通し他団体との交流が豊かなこと、参加を続けることで町田で活動する人々との交流が深まることです。

町田市役所入口向かって左手に出店しています。ぜひいらしてください。



まなびあいプロジェクトが始まります！

9月、10月と2回にわたり、理事長より「まなびあいプロジェクト」の説明会がありました。

まなびあいプロジェクトは、いろいろな事情で十分に学習する機会を得られないでいる小山地区の小学生を対象とした取り組みであり、ゆどうふの場所を提供し、一緒に学校の教科の学習やその他の学びを通して、子どもたちと穏やかな交流が出来たらと思います。第1回のスタッフミーティングでは、来年3月までの準備期間にやることについて活発にたくさんの意見が出ました。

今は、来年4月に向けて動き出したところです！

(ボランティアスタッフ中村)

10月26日 シーズン企画で津久井湖散策に行きました！

7月の高尾山散策企画につづくシーズン第2弾として、10月26日(土)、津久井湖散策に行ってきました！

天気は曇りでしたが涼しくて過ごしやすい気候の中、津久井湖観光センターから津久井城址まで皆で歩きました。

エリアによってはかなり険しい箇所もあり、山頂に着くころには皆汗びっしょりでした。秋の草木に触れることもでき、大満足の1日となりました！



フリースペース“ふらっと”より

フリースペースふらっとは、自分がどうありたいか、どうしていきたいかを、ゆっくり自分のペースで考えていくための場所です。

月曜日、水曜日の12:30～17:00、金曜日、土曜日の13:30～17:00に開所しています。



【フリースペースふらっとの活動報告】

ふらっとの新プログラムが続々スタート！！

ふらっとでは、シネマテークや哲学カフェ、音楽を語ろう、卓球、ゲームなどメンバーからの発案を中心に、新たなプログラムを実施して来ました。今夏以降では、尾根緑道散策、折り紙講座、ふらっとDE歌おう（ふらっとのテレビでカラオケ）、水曜日のおやつ（たこ焼きやホットケーキを手作り）、レッツ・ユニスポ（誰でもできるユニバーサルスポーツのボッチャやモルックを公園で実施）など、さらに新プログラムが登場しています。

外出プログラムの尾根緑道散策ではメンバーが普段歩いているコースを散策しました。多摩境駅近くにこんなに静かで落ち着いて散策できる場所があるとは驚きでした。

また、散策中には橋本方面の市街地を見渡せるポイントもあり、街と緑を同時に感じられる瞬間がありました。

ふらっとDE歌おうは、スタッフがコロナ禍の自宅待機でできる事を探していた時に、DAM（第一興商）が配信する自宅向けのカラオケアプリを偶然発見。今回、そのアプリをゆどうふのテレビでも使えるようにしました。DAMの配信サービスなので収録曲もかなり豊富で、参加したメンバーは1980～90年代の曲を中心に歌う人もいれば、最近流行りのボーカロイド（ボカロ）の曲を中心に歌う人もいて、ふらっとに集まるメンバーの年齢層の幅広さを改めて感じました。

さて、次はどんな新しいプログラムが登場するのか楽しみです。



ボランティアスタッフ紹介

ゆどうふで活動している
ボランティアスタッフを紹介します！



喜田 義輝

【趣味】トレイルランニング、
サクソ演奏、映画鑑賞
【一言】お話をしたり、映画を観たり、
ゆったりと過ごすことが好きです。
焦らず気負わずのんびりと。



松島 海

【趣味】音楽、読書、温泉
【一言】ゆどうふでは皆が自分らしい
られる場所だと感じています。安心して
過ごせる居場所でご一緒できることを
楽しみにしています。

次号以降も引き続きボランティアスタッフを紹介
します！お楽しみに〜♪



わらしべワークプロジェクトの活動報告

わらしべワークプロジェクトは、ひきこもり等の様々な困難を抱えた若者が主体となって、地域の方が抱える、草むしりや高齢者宅の掃除、子どもの見守り等のちょっとしたお困りごとを有償で解決する取り組みです。

多様な若者が地域社会で役割をもち、様々な人とのふれあいを経ながら、自分たちの強みを活かして世界を広げていってほしい、という願いが込められたプロジェクトです。

【わらしべワーク】

新たに5名のわらしべメンバーが増えました。今まで1名で行っていたワークに2名で参加するなど、ワークを通じたメンバー同士のつながりも生まれています。メンバーの皆さん、まずは何か1回でもワークに参加してみてください。自分の得意なこと、苦手なことがわかるかもしれません。

【わらしべBook】

今年の春に第1号を発行した「わらしべBook」のVol.2が出来上がりました。メンバーの好きなコトやモノを文章や絵で表現してもらったこの冊子を通じて、自分とは違うみんなの考え方や楽しみ方を知ってもらえたらいいなあと思っています。ただ今Vol.3発行に向けて記事を募集中です。皆さんの好きなモノやコトを是非教えてください。

【わらしべ交流会】

わらしべワークプロジェクトでは月に1回、メンバーによる「わらしべ交流会」を開催しています。いつもは自分達の好きなお菓子や飲み物を買ってきて、食べながらおしゃべりしたり近況報告をしたりして過ごすのですが、3ヶ月に1度、地域の方に講師になっていただきお話を聞く会を開催しています。

11月9日(土)は小山にある「すーぷやSEKAI(こども食堂せかい)」さんで店長の金子静香さんに講師になっていただき「好きをつらぬく「強さのひみつ」」をお聞きしました。

お店で一番人気のスープカレーをいただきながら、「本当の強さって？」
「強いって弱いってこと？」と参加者からも色々な話が出ました。

※次回の開催は1月11日(土)の予定です。

わらしべ交流会
「すーぷやSekai」で
金子さんのお話を聞く会

11月の開催で「すーぷやSekai」を営む金子さんは「子ども食堂せかい」の代表でもあります。そんな金子さんの「すーぷ」の魅力や、美味しいスープを作るコツや、お聞きする会です。お聞きももって来てくださると嬉しいです。ご参加お待ちしております。

・日時：11月9日(土)
15時～16時15分
・場所：すーぷやSekai
・参加：ゆどうふに14時30分(徒歩15分)
・費用：無料

※参加を希望される方は11月6日(日)までにゆどうふまで電話かメールでお申し込みください。後入れ先着順である可能性があります。

NPO法人ゆどうふ
〒194-0212
東京都昭島市山崎1-1-1
電話：042-814-6575
メール：yudoufuroshiba402@gmail.com
わらしべワーク・事務局、企画、運営

すーぷやSekaiで一人一人の
スープカレーをいただきます。

わらしべワークは、ただの仕事の体験の場ではありません。
自らが手をあげて地域社会に参加し、その中で他者への信頼・社会への信頼、また自分への信頼を感じていく場です。

なお、わらしべワークに若者と一緒に参加してくれるサポーターさんも募集中です。
ご興味ある方はぜひお問い合わせください。

9月7日、8日 小山・小山ヶ丘つながるフードドライブに参加しました

9月7日、8日の2日間、町田市小山市民センターにてONW協議会主催のフードドライブに参加しました！
ゆどうふからは、利用メンバー2名、スタッフ1名、ボランティアスタッフ1名が参加させていただきました。
フードドライブとは、家庭で消費しきれない食品等を集め、必要とする人のために寄付をする取り組みです。地域の方が缶詰やお茶、お菓子など持ってきてくださいました。フードドライブに来たきっかけを聞いたところ、昨年に引き続き来てくださった方もいれば、タウンニュースを見て来てくださったという方々もいらっしゃいました。来てくださった地域の方とお話しながら楽しく活動することができました。



2日間でたくさんの食材が集まりました。集まった食材は、市内の子ども食堂や困難を抱える世帯に配られます。来てくださった皆様、ありがとうございました！

多様な若者が生き生きできる社会へ ～ご入会/寄附のお願い～

ゆどうふではただいま活動を支援してくださる正会員/賛助会員を募集しております。

- ◆正会員（個人） 入会費 1,000円 年会費 3,000円
- ◆賛助会員（個人） 入会費 1,000円 年会費 5,000円
- ◆団体賛助会員 入会費 1,000円 年会費 20,000円

※ご入会希望の方は下記連絡先まで電話、メールにてご連絡ください。

【振込先】

きらぼし銀行 町田支店 普通口座
口座番号：1823689
口座名義：トクティエイリカツドウハウジンユドウフ
リジチョウツジオカヒデオ（トクヒ）ユドウフ

【ご入会/寄附のご報告】～御礼申し上げます～

- ・入会 正会員 柳 倫之様、矢盛 晶様、
宮内 大志様

クレジットカードでのご寄付も可能です。
下記QRコードが法人HPよりアクセスをお願いいたします。
ご無理のない範囲での、皆様の応援をお待ちしております。

※外部ページが開きます
マンスリーサポーターページ
(選択いただいた額の寄付が
毎月自動引落しされます)



通常寄付ページ
(ご都合の良いときに、ご自由な
金額をご寄付いただけます)



NPO法人ゆどうふ

ひきこもり等生きづらさを抱えた10代～40代の若者と家族の支援活動を行っている法人です。

東京都町田市小山町にあるフリースペースの運営、訪問支援、臨床心理士によるカウンセリング、わらしべワークプロジェクト等の社会参加体験事業を行う「若者支援事業」と、アサーションワークショップ、音楽イベントの企画をはじめとした文化活動を行う「自己表現サポート事業」を実施し、「一人ひとりが自分らしさを追求したり表現することが権利として認められている社会の実現」を目指して活動しています。



〒194-0212
東京都町田市小山町2595-1

TEL 042-814-6675
MAIL info@yudofu.or.jp
HP yudofu.or.jp



@info_yudofu で検索



https://www.facebook.com/npoyudofu